

MMC ニュース 経営情報

2026年8月号

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-20

ワカヤギビル 504

TEL.03-3511-6038 FAX.03-3511-6039

<https://www.mmc-office.co.jp>

有限会社MMC

全東信の倒産 大きな悪影響ある方は 公庫の融資を検討する？

7月初旬にクレジットカード決済取りまとめ会社「全東信」が倒産したニュースが話題になりました。同社の取引先は飲食店が中心のようでしたので、弊社顧問先様で影響を受ける方は、ほぼいらっしゃいません。同社が倒産した経緯をここで取り上げることにはせず、本稿では万一悪影響を受けてしまった方へのセーフティネットのご紹介をさせていただきます。セーフティネットと聞くと誰しも思い浮かべるのは、政府系金融機関（日本政策金融公庫が代表的）からの融資かと思います。

政策公庫のセーフティネットはMMCニュース2月号でもご紹介しましたが、以下の条件に当てはまる事業者の方で、同融資を受ければ経営改善に向かい得る方は検討してみてください。

（セーフティネット条件）

- 前期または前々期決算より5%以上売上が減少している事業者
- 最近3か月の売上が前年同期または前々年同期より5%以上減少している事業者

また、業績悪化が社会的な要因（物価高騰や全東信要因など）である場合は、金利優遇もあるそうです。

返済期間も「設備資金なら15年以内」「運転資金なら8年以内」と通常よりも余裕があります。

なお、全東信倒産の影響を受けている事業者は、先術の条件に当てはまらなくても支援を受けられる場合があるそうなので、まずは政策公庫に相談してみてください。

クレジットカード会社への規制は存在していましたが、取りまとめ会社への規制はなかったそうです。今回の件から、政府は取りまとめ会社への規制の検討に入りました。

業種別市場規模 全般的に拡大傾向 競争に勝ち残るには

行政も民間研究機関も、コロナ禍から現在まで・現在から今後の見通しによる経済市場は拡大傾向にあると分析しています。物価高騰や人手不足は一層厳しい状況ですが、専門家はそうに分析しています。「ことさらに行政の分析にはミスリードがあるのでは？」と考える方は少なくないようですが、客観的なデータを把握しておいて損はないと思います。そこで今回は、産業別による市場規模を抜粋してご紹介いたします。皆様はどう分析し、今後の戦略・戦術に結びつけるでしょうか。

全産業の2023年市場規模は1930兆円5669億円で、産業別の市場規模は以下抜粋（合計は一致しません）の通りです。

産業 (大分類)	市場規模 (構成比)	産業 (大分類)	市場規模 (構成比)
卸売・小売	521兆円 (27%)	情報通信	85兆円 (4.4%)
製造	463兆円 (24%)	運輸・郵便	73兆円 (3.8%)
医療・福祉	185兆円 (9.6%)	不動産	66兆円 (3.4%)
金融・保険	166兆円 (8.6%)	学術・専門 技術サービス	52兆円 (2.7%)
建設	129兆円 (6.7%)	その他の サービス	44兆円 (2.3%)

（経済産業省）

細分化した産業別でみてみます。

① 美容関係全体の市場規模(2025年)は5兆円で、細分化すると以下抜粋(合計は一致しません)の通りです。

分類	市場規模
化粧品	2.5兆円
美容サロン	1.5兆円
理容サロン	6.3億円
美容医療	6.3億円
エステ	3.0億円

理美容サロン市場の売上は前年比101.5%で、多くのサロンで料金改定が実施されたが、来店客数はあまり落ち込まなかった事の寄与が大きいとの事です。

(株式会社矢野経済研究所HPより)

② 外食産業の市場規模(2025年)は24兆円で、2019年の規模まで近づき、2026年にはそれを上回る勢いです。これも物価高騰による価格改定やインバウンド需要の拡大が大きな要因です。外食業における主要4カテゴリー別の分析は以下の通りです。

【ファストフード店】

フードメニューが90%以上を占める。一方で、客単価上昇や客数増加への取り組みとしてソフトドリンクを強化する大手牛丼チェーンやアイドルタイムの需要獲得を目的とするハンバーガー店などカフェ化を進める業態がみられるほか、ディナーの売上拡大への取り組みとしてラーメン店やセルフ式そば店でちょい飲み需要の獲得に力を入れている。

【ファミリーレストラン】

フードメニューが90%弱を占めているが、総合FRを筆頭にドリンクバーを展開するチェーンが多く、ソフトドリンクも堅調な需要がある。また、おつまみとなる一皿メニューを展開するチェーンなどもみられ、アルコールも底堅い需要があり、5%程度を占めるとみられる。

【料飲店】

コロナ禍で激減した宴会需要の回復により客数増加が顕著で、アルコール需要の回復が進んでいることから、アルコール比率は60%弱を占める。一方、宴会の場でソフトドリンクが選択されることも増えており、居酒屋・炉

端焼ではファミリー層や飲酒をしない人を含んだグループの来店頻度が増えている。そのためフードメニューの充実で利用シーンを広げる動きがみられるほか、ランチやテイクアウトメニューを強化する店舗もみられるなど、フードの位置付けは高まっている。

【喫茶】

ソフトドリンク比率が高く65%程を占める。しかし、出社率の回復からオフィス街を中心にランチ需要が増加していることもあり、フードメニューのラインアップ強化による客単価上昇や客数増加を図るチェーンが目立つことから、フード比率が高まっている。一方で、アルコールは取り扱う店舗が限られていることから比率は僅かである。

(富士経済グループHPより)

③ 介護市場の現状と将来推計

分類	市場規模	ポイント
介護サービス	11.5兆円	介護給付費と利用者負担の合計。高齢化により毎年約3000億円規模で増加傾向にある。
介護関連用品	3.6億円	大人用紙おむつや福祉用具など。介護保険制度の影響で中長期的には横ばい傾向。
高齢者周辺	100兆円	医療・介護から生活支援、住宅までを含む広義の市場。

(トリケアトプスHPより)



MMCホームページ



YouTube



10年口やせました

<https://www.mmc-office.co.jp> 検索「MMC神保町」